



受付第05A0911号
受付日：平成17年 6月27日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成17年10月 3日

財団法人 建築試験センター
中央試験所長 勝 野 幸
埼玉県草加市稲荷 0号

試験名称	筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験
依頼者	会社名：株式会社 タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県新治郡新治村大畑702番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：2倍筋かいプレイン 用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と軸組との止め付け部に使用する金物 寸法：280×95mm，厚さ1.2mm（図-3参照） 材質：Zn-11%Al-3%Mg-0.2%Siめっき鋼板スーパーダイマ（NSDCC K18） 2. 接合具 木ねじ：TB-45，柱側及び横架材側5本，筋かい側7本使用 長さ：44.8mm，ねじ部の長さ：40.65mm，ねじ部の外径：5.1mm 谷の径：3.3mm，ねじ山のピッチ：3.18mm，ねじ先の形状：とがり先 材質：SWCH 18A（JIS G 3539） 表面处理：Ep-Fe/Zn 5/CM2 C（JIS H 8610及びJIS H 8625） 3. 使用軸組（耐力壁の長さ0.91m，高さ2.73m） 梁：べいまつ，105×180mm，土台及び柱：すぎ，105×105mm 間柱：すぎ，30×105mm，筋かい：Hem-Fir（N），45×90mm 4. 試験体数 3体 参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	1mあたりの基準せん断耐力：3.4kN，終局変形角 γ_u の平均値：1/17rad 耐力算定基礎資料等：表-2～表-4 荷重-せん断変位包絡線の比較：図-4 荷重-せん断変位包絡線，変形角曲線及び変位曲線等：図-5～図-11 破壊状況：写真-1～写真-4
備考	当該試験結果は，平成12年告示第1460号の一の二に定める 45×90mm以上の木材に取付ける筋かいプレートに該当する。
試験期間	平成17年 8月18日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋 本 敏 男 試験責任者 高 橋 仁 試験実施者 室 星 啓 和
試験場所	中央試験所